

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2
発達段階に応じた教育の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

学校企画課長 福間 俊行

電話番号

0852-22-5408

事務事業の名称	高等学校修学奨励費（定時制・通信制）	
目的	(1) 対象	県立高等学校の定時制課程又は通信制課程に在学する勤労青少年
	(2) 意図	経済的負担を軽減することにより修学を促進し、教育の機会均等を保障する。
事業概要	有職生徒の経済的負担を軽減するため、定時制課程又は通信制課程に在学する生徒に1月当たり14,000円の修学資金を貸与する。また、教科書及び学習書を無償で給与する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	適格者に対する貸与、給与率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	貸与者/貸与申請した適格者	取組目標値						
			実績値	100.0	100.0	100.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,318	5,026
うち一般財源 (千円)	3,318	5,026

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・修学奨励資金については、平成29年度においては適格者3名の者に貸与した。平成28年度においては5名の者に貸与している。また、教科書・学習書の給与については、平成29年度においては適格者、約250名の者に約2,200冊給与した。平成28年度においては適格者約230名の者に約2,200冊給与している。
・就学奨励資金貸与及び教科書・学習書給与とも、ここ数年は、いずれも同様な件数で推移している。

【修学奨励資金貸与】	H27	H28	H29	【教科書・学習書給与】	H27	H28	H29
貸与者数	4人	5人	3人	給与者数	252人	232人	249人

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・有職生徒の経済的負担を軽減することで、青少年の修学の促進に成果があった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・制度は安定的に運用されており、現状で課題は把握していない。

②困っている状況が発生している「原因」

・特になし

③原因を解消するための「課題」

特になし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・修学奨励資金の貸与については、定時制・通信制課程のある各校で制度周知を確実に行うとともに、適格者を審査し適切に貸与を行っており、これを継続する。
・教科書・学習書の給与については、適格者に対し確実に給与を行っており、いずれも有職青少年の修学促進に効果を上げており、これを継続する。